

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村core (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースを十分に確保しています。	机上課題に取り組む部屋や、体を動かせる部屋、屋外でも体を動かせる遊具を備えているため、あらゆる活動に参加できるスペースがあります。	各部屋や各場所での提供できるプログラムが充実できるよう、場所に応じてスペースの確保ができるようにさらに構造化に努めます。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫しています。	保育園での行事に合わせて活動プログラムを考案しており、毎週違うプログラムをするようにしています。また、利用児の困り感に合わせてプログラムを組んだり、新たな困り感に対してもアプローチできるように保護者の意見も聞きつつプログラム考案をしています。	一年を通しての保育園の行事に合わせてプログラムを組めるよう、保育園とも連携して考案していきます。また、日常生活で表出した困り感にもアプローチできるよう、保護者と保育園と情報共有を行います。
3	こどもは通所を楽しみにしてくれています。	通所の度に「できた！」という達成感を一度は味わってもらえるよう、プログラム内容や声掛けを工夫しています。また、「今日も楽しかった!」「また行きたい!」と思ってもらえるよう、スタッフも一緒に楽しく明るい雰囲気です。	毎回の楽しみや達成度を上げられるよう、個々に合わせたプログラムの内容を充実させます。また、季節に合わせた活動も取り入れます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	年に1回行われている法人主催の講演会がありますが、契約の時期によっては告知や周知ができていないと感じました。	年間を通して行われている研修会などについても、事業所の見学や契約時に告知や周知を行います。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていない。	夏祭りは全家庭が家族全員で参加できるように開催しました。また、夏休みの終わりには全家庭を映画館へ招いて事業所で貸し切り上映を行いました。毎年3月には保護者会と発表会を兼ねた交流会を開いているため、イベント事について新規契約の家庭への周知ができていないと感じました。	事業所見学や契約の際に、その時期のイベントや大きなイベントの告知や周知はしますが、対応するスタッフによっては告知が漏れることもあるので、告知内容を統一していきます。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていない。	保育園に送迎することが基本となっているため、保護者と直接お会いする機会があまりなく、連絡帳や電話でのやり取りになるため通所回数によってはやり取りが少なく、共通理解が薄いと捉えられているのかもしれないと考えられます。	気軽に電話でのやり取りができる関係性作りや、モニタリング以外でも要望によって面談を行うなど、家庭からの要望に柔軟に対応できるよう務めます。